



大会式典

- 会 場：文化会館(大ホール)
- 日 時：平成22年10月22日 15:30~17:00

佐賀県で初めての開催となる全国大会です。前年の山形大会終了直後より多数の会員および関係者の協力により準備を進めてまいりました。

「多彩な自然と文化が育むさがの地に学ぶ～未来につなぐ人の絆と建築士の役割～」をテーマとする本大会の式典は、国会議員、国土交通省、佐賀県知事、佐賀市長、関係団体など多くの来賓のご臨席を賜り、盛大に執り行われました。

式典に先立ちオープニングアトラクションとして、有田磁器「碗琴演奏」・有田皿踊り「有田音頭チロリン節」で祝い、開会宣言の後、佐賀県建築士会・本告勤三郎会長が開会挨拶を述べました。

国歌斉唱、物故者394名のご冥福を祈り黙祷、日本建築士会連合会・藤本昌也会長の主催者挨拶と続き、表彰に移りました。連合会会長表彰は121名の受賞者を代表し、佐賀県建築士会の平川聖二様に、伝統的技能者表彰は27名の受賞者を代表し、沖縄県の大山隆三様に、連合会賞(作品賞)は5名の受賞者を代表し、大阪府建築士会の江副敏史様に表彰状と記念品が贈呈されました。

来賓祝辞、祝電披露、単位建築士会紹介、会務報告、セッションおよびまちづくり交流プラザ報告と進み、最後に、

1. 建築士の資質の維持・向上を図り、地域貢献活動を推進する
 2. 建築士の業務環境を改善する
 3. 自律的監督体制の確立のもと、社会的使命を遂行する
- の大会アピールが発表されました。

そして、大会旗引き継ぎ、次期開催地会長挨拶と、大阪府建築士会の皆様による次期開催にあたってのPRが行われました。大阪の皆様のご健闘と大会のご成功を祈念します。

この大会に携わった多くの人々の知恵と力の結集により滞りなく無事終了することができました。大イベントを成し遂げた達成感と充実感、そして本大会のテーマに謳われている「絆」を強く感じながら、皆様に深く感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。

(大会式典部会部長 家田龍彦)



オープニングアトラクション



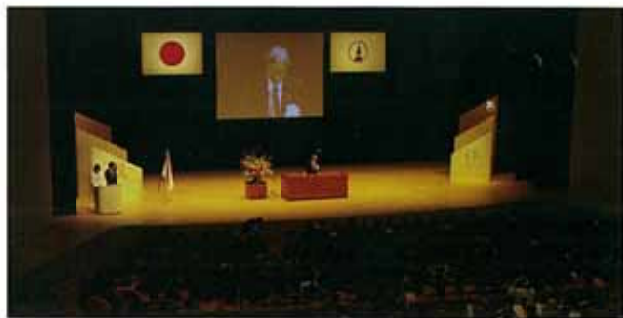
藤本昌也会長による主催者挨拶



表彰風景



大会旗引き継ぎ



式典全景